

令和4年度 全会津総合体育大会

【新型コロナウイルス感染症に対応した大会ガイドライン】

会津バスケットボール協会

以下の項目を実施しても感染リスクをゼロにすることはできません。主催者である我々はもちろん参加チーム、保護者、審判員、そのほか全ての皆様に、この点を十分理解した上で参加いただくとともに、特段のご協力をお願いいたします。

*基本方針 福島県およびJBA・FBAのガイドラインに沿って実施します。

1 大会前の対応

- (1) 参加各高等学校長へ実施について知らせ、実施要項を提出する。
- (2) 大会参加者は、主催者が示した「ガイドライン」・「チェックリスト」等を遵守すること。
- (3) 今大会は無観客での開催とする。会場に入場できる者は、チーム関係者、大会役員、審判員、報道関係者とし、かつ大会当日に「健康チェックシート」を提出し受理された者のみとする。チーム関係者は監督、コーチ、Aコーチ、マネージャー、選手（含エントリー外の選手）、帯同トレーナー、管理職とする。
- (4) チーム責任者は上記（2）、（3）を関係者に周知する。
- (5) 大会参加者の健康状態等を把握するため、大会参加者全員に「健康チェックシート」の提出を求める。必要事項を記入し、大会当日、忘れず持参すること。
参加チーム責任者は、大会当日、チーム全員の「健康チェックシート」を集め、受付に提出すること。
- (6) 大会前2週間以内に発熱(37.5°C以上)があった場合の対応について
 - ① 日常的に発熱(37.5°C以上)がある場合、「通院する」ように促す。
 - ② 大会当日発熱(37.5°C以上)がある場合や体調がすぐれない場合は大会参加を見合わせる。
 - ③ 2週間の期間中に発熱(37.5°C以上)があり医療機関を受診し、医師からの指示があった場合には健康チェックシートの「チェック項目 ⑨ その他（自由記述）」の枠に内容を記入する。
例1：○月○日通院「自宅療養をして1～2日で熱が下がれば問題なし」と言われた。
例2：○月○日通院「胃腸炎による発熱」など
 - ④ 2週間の期間中に発熱(37.5°C以上)があったが医療機関を受診していない場合で、大会当日発熱が無い者は受付にて確認する（2、（1）、3）、④参照）。

2 大会中の対応

- (1) 健康チェックシートの取り扱いについて

1) チーム関係者【チーム責任者】

- ① 大会初日の集合時、会場に入場する前にチーム全員の健康チェックシートを集め。その際、チームメンバーの体調観察及び健康チェックシートの確認（発熱、記入漏れや不備）をする。
- ② 当日、発熱(37.5°C以上)がある場合、体調がすぐれない者がいた場合、大会参加を見合わせる。
- ③ 健康チェックシートの起床時体温の発熱(37.5°C以上)に赤丸をつける。
- ④ チェック者（赤丸や自由記述がある者）のシートを東の上部に集める。

⑤ 受付時にチーム全員分をまとめて表紙に必要事項を記入のうえ、参加者名簿を添付し、受付担当者に提出する。

⑥ 翌日に試合がある場合は、初日解散前に主催者からシートを受け取る。チームメンバーに再配布し、2日目の記入、提出の指示をする。

⑦ 2日目以降は、同様に①～⑥を行う。

2) 大会役員、審判員、補助員

大会役員、審判員及び補助員は各会場受付または会場主任に提出する。

3) 主催者

① 会場作成者は会場入口付近に『チーム受付ブース』を設置し、受付担当者（役員）を配置する。

② 受付担当者は受付ブースでチーム責任者から提出された健康チェックシートを確認し、確認印（or サイン）をする。

③ 受付担当者は確認後にチェック項目がない者に参加可能の指示をする。

④ チーム責任者とチェック項目がある者を呼び、「チェック項目①～⑨」の確認作業を行う。問題がなければ参加可能を指示し、問題がある場合は帰宅を促す。

⑤ 2日目以降に試合があるチームの健康チェックシートは当該チームの解散前に受け取りに来たチーム責任者に返却する。

⑥ 主催者は試合が終了したチームの健康チェックシートを保管する（3か月）。

（2）受付、入場について

① 受付時間は、全チームとも試合開始の1時間前とする。

② フロア（ベンチ）への入場時間は試合開始20分前とする（第1試合のみ1時間前）。

前試合が遅延した場合は、消毒作業終了後の入場とし20分後に試合を開始する。

（3）会場内

① コート上を除くすべての方がマスク着用をすること（各自準備する）。屋外で2m以上の距離を保てる環境下ではこの限りではない。

② こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。

③ 様々な場面において、他の参加者等との距離を十分確保すること。

④ 昼食をとる場合は、距離を十分とって対面を避けて食事すること。

⑤ ギャラリーでの観戦は試合の当該チームのエントリー外選手のみとする。

⑥ 更衣室の使用については主催者の指示に従い、密にならないようにすること。

⑦ 荷物は各自が持って、会場の所定の場所やフロアに入場する。

⑧ 前試合のハーフタイムのW-upは行わない。フロア外でのW-upを原則とする。使用後の消毒作業はチームの責任で行う。

⑨ 試合が終了したチームは、すみやかに観客席の所定の場所に移動すること。

（4）試合

① 指導者・スタッフ・ベンチに座る選手は、マスク着用すること。マスクの管理は各自が責任を持つこと（保管用のビニールを準備する、番号・氏名を記入するなど）。

② プレー以外の円陣、握手、ハイタッチ、抱擁等の不要な接触を避けること。

③ タオル、ボトル等、すべてのものを共用しないこと。

- ④ ベンチでは可能な限り間隔をとって着席する。
- ⑤ コート上でのチームメイト、審判員との会話の際の距離についても留意する。
- ⑥ 試合前、試合後の審判、相手ベンチへの挨拶はキャップテンのみとし、握手は行わない。
- ⑦ アップ時や試合中にチームで統一されたかけ声や応援は控える。
- ⑧ 試合が終了し選手退場後に、顧問が責任をもってチームベンチエリア内の消毒を行う。各チームは消毒に必要な物品（アルコール消毒液、ペーパータオル、使い捨て手袋、ゴミ袋）を準備する。消毒作業で出たごみは各チームで持ち帰る。
- ⑨ 試合のビデオ撮影（記録用）をする場合はエントリー外の選手または許可された保護者がギャラリーで撮影する。

(5) TO、CKについて

- ① TO席は長机2つを配置し、TO4名が可能な限り距離をとって着席する。
- ② TO、TO主任、CKはマスクを着用する。
- ③ 試合終了後、TO主任はTO席、TO操作盤、筆記用具、CK席、モップの消毒を行う。この消毒作業に必要な物品は大会主催者が用意する。

(6) その他

- ① ごみは、各自責任をもって持ち帰ること。
- ② 手洗い、手指消毒等の注意喚起掲示をする。総務が準備し、会場内に掲示する。
- ③ 手指消毒液、ペーパータオル等の設置をする。大会主催者が準備し、会場責任者が設置する。
- ④ 会場備品、ドアノブ、トイレ等の消毒を1～2試合おきに行う。大会役員が行う。
- ⑤ 窓・ドアの開放や大型扇風機の利用等で可能な限り換気を促す。
- ⑥ 試合、TO、役員業務が終了した参加者は速やかに会場の外に出ること。
- ⑦ 役員、審判員の飲料等は各自準備する。
- ⑧ 審判は原則1試合とするが、2試合の割り当てとなる場合もある。
- ⑨ SNSへの静止画・動画のアップロードは禁止。試合のライブ配信についても禁止とする。

※ 主催者側でも常設しますが、除菌シートやアルコールスプレーの持参の協力を依頼する。

3 不測の事態の対応

(0)不測の事態に対しては『JBAバスケットボール事業・活動実施ガイドライン(手引き)』第5版(2022年5月12日作成)に沿って対応することとする。参加チームは、別紙『大会参加に関する申し合わせ事項』を必ず熟読し、遵守すること。

大会に関わるチーム関係者、大会役員、審判員、補助員、報道関係者、チーム応援保護者はJBAのホームページを確認し、上記ガイドラインの内容を確認しておくこと。また、ガイドラインが更新された場合は、最新版に沿って対応することとする。

(1)棄権チームについて

体調不良者等が原因で人員不足となり出場不可となったチームは「棄権」となるが、処分の対象とはしない。

不可抗力によって大会参加を辞退する場合、連絡を入れること。連絡先は、所属地区の専門委員長とする。

(2)大会期間中に参加者に感染者が出た場合

感染者発覚の時点で、速やかに主催者(県専門委員長)に連絡を入れること。感染者発覚後の大会の継続等に関しては主催者で協議し、参加チームへ通知する。

(3)大会後 2 週間以内に参加者(チーム応援保護者を含む)に感染者が出た場合には、速やかに主催ガイドラインに関する問合せ先

会津バスケットボール協会

〃

理事長 折笠弘一 (会津学鳳高校 0242-22-3491)

社会人連盟理事長 佐藤 修 (090-8613-9792)